

授業科目

レクリエーション実技

担当教員名 佐近 慎平	対象学年	2	対象学科	スポ
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○	◎	◎	◎	◎

授業の概要

楽しみを基調とした身体活動を学習する。交流場面における個人や集団とのコミュニケーションスキル、レクリエーション・ゲームズ、スポーツ・レクリエーション種目を学ぶ。

授業の目的

対人援助技術、集団援助技術の理論と技術を学び、とくに、楽しさが先導する身体活動の指導方法の基礎を習得することを目的とする。

学習目標

1. 対人援助におけるホスピタリティスキルの基礎を習得する。
2. アイスブレイキングスキルの基礎を習得する。
3. 道具を用いないレクリエーションプログラムを指導できる。
4. スポーツ・レクリエーション（フラッグフットボール等）を指導できる

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	オリエンテーション レクリエーション指導者の使命・特性	講義・実習	佐近 慎平
2	ホスピタリティトレーニング 言語・非言語コミュニケーショントレーニング	講義・実習	佐近 慎平
3	ホスピタリティトレーニング2 信頼関係づくりの方法、良好な集団作りの方法	講義・実習	佐近 慎平
4	アイスブレイキングプログラム 基本隊形、同時発声・同時動作	講義・実習	佐近 慎平
5	幼児期の運動遊び 基本的な動作：移動系・平衡系・操作系	講義・実習	佐近 慎平
6	学童期の運動遊び コーディネーション能力：リズム能力・バランス能力・変換能力・反応能力・連結能力・定位能力・識別能力	講義・実習	佐近 慎平
7	学童期の運動遊びやゲーム1 コーディネーショントレーニング	実習	佐近 慎平
8	学童期の運動遊びやゲーム2 親子を対象としたプログラム	実習	佐近 慎平
9	学校体育で行われるスポーツ・レクリエーション1 フラッグフットボール：ランゲーム	実習	佐近 慎平
10	学校体育で行われるスポーツ・レクリエーション2 フラッグフットボール：パスゲーム	実習	佐近 慎平
11	学校体育で行われるスポーツ・レクリエーション3 フラッグフットボール：ゲーム1	実習	佐近 慎平
12	学校体育で行われるスポーツ・レクリエーション4 フラッグフットボール：ゲーム2	実習	佐近 慎平
13	スポーツ未実施者へのスポーツ・レクリエーション支援1 ユニバーサルホッケー	講義・実習	佐近 慎平
14	スポーツ未実施者へのスポーツ・レクリエーション支援2 インディアカ	実習	佐近 慎平
15	スポーツ未実施者へのスポーツ・レクリエーション支援3 キンボール	実習	佐近 慎平

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書	レクリエーション支援の基礎 楽しさ・心地よさを活かす理論と技術	日本レクリエーション協会	公益財団法人日本レクリエーション協会	2008年	2,000円+税	
	ジュニアスポーツ指導員テキスト	公益財団法人日本体育協会	公益財団法人日本体育協会	2014年	7,800円+税	
その他の資料	授業に先立ち適宜配布					

評価方法

受講態度・レポート

履修上の留意点

余暇論を履修していること。
資格希望者は事前に申し出ること。

オフィスアワー・連絡先

月曜日昼休み、O棟401・佐近研究室・sakon@nuhw.ac.jp